

## Y07a 大学シラバスの保存状況と宇宙・天文関係講義の変遷調査

玉澤春史（京都大学/京都市立芸術大学）

大学の教育課程においてシラバスは学生が講義を選択するための道具であるが、一方で各大学・教員がどのような講義内容を行っているかを一般に知らせるための広報資料でもある。公開されているシラバスを調査することによって大学教育の状況把握・比較をすることもできる(鴈野他 2018)。近年は履修登録をウェブシステム上で行うにともなって、かつては内容まで記載され、製本・配布されたシラバスも現在ではウェブ上でのみ存在することも少なくない。このため、教育課程の変遷をみるためには現在のウェブ上シラバスだけでなく紙版のシラバスとの比較が必須である。一方でそれまでの紙版のシラバスは学生への配布物であり、必ずしも保存対象と意識されていない場合もある。過去のシラバスがどのように管理されているかは大学や学部・研究科によってことなる。学部 1-2 回生向けの一般教養科目としての提供授業は共通教育担当部局が管理しており、また近年の組織再編の流れも相まって管理状況は流動的である。本報告ではシラバス管理調査を通じ天文・宇宙関連の講義がどのように再編整理されていったか、特定の大学に絞っての調査経過の報告を行う。